学校番号	２１０

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	音楽Ⅰ　Tutti＋（教育出版）						
副教材等	「The Basics of Music」（教育芸術社）、自主教材（ギター、音楽理論）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を聴くこと」「音楽の仕組みを知ること」を年間通して学習します。
- 到達度は、実技テスト、確認テスト、ワークシートで評価します。
- 音楽の学習は自分自身が楽しみ、そして意欲的、積極的に取り組むことが大切です。練習を重ねてできるようになった演奏は聴く人の心に感動を与えます。また自身の心も満たされます。まずはそのような心に響く経験をしてください。そして生涯に渡って音楽を愛好する心情を育んでほしいと思います。
- 鑑賞では様々なジャンルの曲を聴き、音楽の特徴や文化的、歴史的背景について学習します。
  日本の伝統音楽の種類やそれぞれの特徴についても学習を深め、音楽文化についての幅広い知識と教養を身に付けてほしいと考えています。
- 音符や楽譜の仕組みを理解し、「楽譜が読める」「楽譜を書くことができる」ようになることを目指します。

２　学習の到達目標

（知識及び技能）
・楽器および楽譜の仕組みを理解し、演奏ができるようになる。
【思考力、判断力、表現力等】
・音楽的な感性を高めるとともに、合唱、器楽アンサンブルなどを通して互いの存在を意識しながら、表現をしていく能力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
・音楽活動を通して音楽を愛好する心情を育むとともに、古今の名曲に触れる機会を持ち音楽文化についての関心を高め、自主的に学び続けることができる態度や、音楽を通して物事を見つめ、考え解決する力を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	音符の種類や長さ、拍子の概念などを理解するとともに、タブラチュア譜（タブ譜 ）の読み方を習得する。 ギターの基本的な運指についての知識を習得する。 歌唱における姿勢や発声の際の身体の使い方を身につける。 鑑賞においては楽曲の作曲者についてや歴史的背景について理解する。	創意工夫を生かした音楽表現をするためには、知識として学んだどの技術を使えばよいかを自分自身で判断して練習に取り組むことができるようになる。 音楽を形作っている要素を理解し、その曲を最も美しく表現するためにはどうしたらよいかを意図して演奏することができる。	ジャンルにかかわらず、授業で扱う曲に興味関心をもって取り組む姿勢を身につける。 技術の向上が表現の充実につながることを理解し、技術の習得に積極的に取り組む姿勢を育てる。 鑑賞においては、落ち着いた態度で楽曲を聴くことができ、感じた気持ちを他者へ伝えることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	ギターを弾く①	【器楽】 ・ギター各部の名称 ・調弦および奏法 ・タブ譜の読み方 ・ハ長調のスケール	a:ギター演奏に必要な基礎的な知識（運指、タブ譜の読み方）が身についているか。調弦および奏法を理解しているか。 b:美しい音色を意識して演奏しているか。 c:積極的に練習に取り組み、反復練習を行えているか。	実技テスト 観察	実技テスト	観察
	音符について	【楽典】 ・音符の名称、強弱記号について	a:音符の名称をおよび楽譜上の強弱記号を理解できているか。 b:a で身につけた知識を、五線譜上で使う（表現する）ことができているか。 c:練習問題に積極的に取り組めているか。	ワークシート 確認テスト	ワークシート	ワークシート 観察 確認テスト
	歌唱	【発声の基礎】 「校歌」 「優しいあの子」 「夏の思い出」	a：美しい声を出すために必要な基本的な呼吸、姿勢について学ぶことができているか。 b：学んだ知識、技術を歌唱にうまく使えて表現しているか。 c：積極的に歌えているか。	実技テスト 観察	実技テスト	観察
二学期	ギターを弾く②	【器楽】 ・ハ短調スケール ・C、G、D7 のコード ・ギター二重奏 「小鳥ならば」 「森のくまさん」	a:ギターコードの構造を理解する。C と G と D7 のコードの弾き方をマスターすることができているか。 b:二重奏を演奏するにあたって、自分のパートを責任を持って弾きつつ、相手の音を聞くというアンサンブルの基礎ができているか。 c:積極的に練習に取り組んでいるか。	ワークシート 実技テスト	実技テスト	ワークシート 観察
	音階について	【楽典】 ・長調の音階について	a:ハ長調の音階の概念について理解することができているか。 b:a で身につけた知識を五線譜上で正しく書くことができているか。 c:練習問題に積極的に取り組めているか。	ワークシート 確認テスト	ワークシート	ワークシート 観察 確認テスト

	歌唱	【二部合唱】 「少年時代」 「世界にひとつだけの花」	a:正しい姿勢、発声で歌えているか。正しい音程で歌うことができているか。 b:お互いの声を聞き合いながら、ハーモニーが作り出す心地よさを知覚できているか。 c:積極的に歌えているか。	実技テスト 観察	実技テスト	観察
三学期	ギターを弾く③	【コードによる弾き歌い】 ・ト長調スケール ・C, G, D, Em のコードを演奏しながら歌う ・ギター弾き歌い 「カントリーロード」	a:コードの押さえ方が取得できており、さらにコード・チェンジがスムーズにできているか。 b:「カントリーロード」という曲にふさわしいテンポ設定ができ、メロディ・ラインを歌いコード演奏に合わせて表現ができているか。 c:練習に積極的に取り組めているか。	実技テスト 観察	実技テスト	ワークシート 観察
	歌唱	【ヴォイスアンサンブル】 「君に届け」 「サザエさん一家」	a:自分のパートの音を正確に歌えているか。 b：他者との調和を意識しながら、表現できているか。 c:自発的に練習に取り組めているか。	実技テスト 観察	実技テスト	観察
	鑑賞	「勧進帳」	a:歌舞伎の歴史、特徴を理解し、その歴史的背景に関心を持ったうえで「勧進帳」の内容について理解できているか。 b：音楽を形作っている要素を知覚し、西洋音楽との違いを感受しながら、我が国の伝統音楽に対する理解を深め、その良さや美しさを味わって聴いているか。 c：「勧進帳」という作品の特徴を理解し、その雰囲気を感じ取り、作品全体に対する理解を深めながら主体的に鑑賞できているか。	ワークシート 確認テスト	ワークシート	ワークシート 観察 確認テスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度